

日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト

【推進エリア】道央広域連携地域（空知地域・後志地域・胆振地域）

目的 空知の「石炭」、室蘭の「鉄鋼」、小樽の「港湾」、そしてこれらを繋ぐ「鉄道」を舞台に繰り広げられた北海道近代化ストーリーである「炭鉄港」が2019（令和元）年5月に日本遺産へ認定され、その活用を通じた地域活性化に期待が寄せられる中、日本遺産を構成する各文化財等を道内外の産業遺産や鉄道遺産ファンなどへPRするとともに、次世代を担う子どもたちに向けた事業を展開するなど、地域特有の資源を活かした取組を推進し、交流人口の拡大を図る。

これまでの主な取組・成果

■ 炭鉄港めし食べ歩きガイドブックの制作 [炭鉄港推進協議会]

発刊数：3000部

掲載店舗数：76店舗（66事業者）

概要：炭鉄港の食文化「炭鉄港めし」を紹介する冊子を作成。各種炭鉄港めしを実際に食べられる店舗情報を中心に、食文化や新たな炭鉄港めしについて掲載。



■ 炭鉄港めしスタンプラリーの実施 [炭鉄港推進協議会]

開催期間：令和4年8月29日～11月30日

協力店舗数：48事業者

参加者数：1164名

概要：LINEを利用して、「炭鉄港めし」を提供する飲食店等や構成文化財を巡るスタンプラリーを開催。



■ 炭鉄港ガイドミニツアーのコース造成・実施 [炭鉄港推進協議会]

開催日：令和4年9月18日（岩見沢）、9月24日（安平・室蘭）、10月1日（三笠）、10月23日（バスツアー）、11月5日（小樽）

概要：炭鉄港を1時間程度で見て学ぶことのできるガイドツアーや、炭鉱路線の廃線跡を中心に1日かけて炭鉄港を深掘りするバスツアーを実施。



■ 教育旅行誘致に向けた有識者モニターツアー [振興局]

開催日：令和4年10月6日～8日

概要：「炭鉄港」ストーリーと深い関係を持つ鹿児島県内から有識者を招聘し、炭鉄港地域への教育旅行誘致を目的とした地域周遊モニターツアーを実施。



評価指標（KPI）

基準値（基準年）

実績値（実績年）

目標値（目標年）

進捗率

炭鉄港推進協議会構成市町の観光入込客数

7,250千人（R2）

10,530千人（R4）

7,468千人（R7）

141.0%

R6年度の主な取組

- インバウンド向けサイクルツアーの整備 [炭鉄港推進協議会]
- 日本遺産認定5周年フォーラム [振興局]
- 食関連イベントでの炭鉄港めしブースの開設 [振興局]

アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト

目的

ウポポイの開設により、国内外からの観光客の増加が見込まれることから、胆振・日高地域が連携し、ウポポイの開設効果を最大限に活かしていく。

これまでの主な取組・成果

■登別市観光交流センター「ヌプル」オープン記念周遊バスツアー [市町]



◀ 期 間：①令和5年2月28日 ②令和5年3月7日
 参加人数：①27名(定員30名) ②25名(定員30名)
 概 要：令和5年3月1日にJR登別駅横にオープンした登別市観光交流センター「ヌプル」を起終点とした登別市及び白老町の観光施設を巡る周遊バスツアーを実施。
 ヌプル施設内においてウポポイ及びアイヌ文化の情報発信を実施。

■食のブランド・ステップアップ相談会 [振興局]



◀ 期 間：令和4年9月22日
 場 所：苫小牧市民会館
 概 要：胆振・日高管内で食に携わる企業を参集し、食の専門家による商品の磨き上げに向けたアドバイスを行ったほか、民間企業と連携した個別相談、商談会を実施。

■ポロトミンタラフェスティバル [振興局]



◀ 期 間：令和4年8月11日
 場 所：白老町
 概 要：各イベントにおいて、アイヌ文様を描くエコバッグづくり等、アイヌ文化体験を実施。
 ※登別市及び苫小牧市等で5回開催

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
胆振・日高地域への観光入込客数	1,040万人(R2)	1,571万人(R4)	1,994万人(R7)	78.8%

R6年度の主な取組

- 地域コミュニティFMでウポポイの行事紹介や各地でのアイヌ文化体験参加の呼びかけの実施 [振興局]
- ウポポイ及びアイヌ文化施設への周遊キャンペーンの実施 [振興局]
- 札幌市や白老町での日高アイヌ文化の魅力発信PRの実施 [振興局]

道内ジオパークの連携による地域力向上プロジェクト

目的

道内ジオパーク間のネットワークの発展に向け、ジオパークの魅力や学術的価値の積極的な発信、環境教育や防災教育の充実を図るとともに、観光振興や地域振興に繋がる取組を推進する。

これまでの主な取組・成果

■ アドベンチャーツーリズムを促進する新しい散策ルートの開発 [市町]



◀ 概要：西山山麓散策路は2000年の有珠山噴火で被災した建物や道路が見学できる散策路で、2000年当時と比較して危険性が低くなったエリアについて、新しいルートを設定し、一般開放。
小型の解説看板を6ヶ所に設置。

■ 親子有珠山登山会の実施 [市町]



◀ 期間：令和4年9月25日
場所：有珠山
概要：ジオパーク地域の子ども及びその家族を対象に、有珠山の登山を通じて、楽しみながら、世界で認められたジオパークの自然環境や、活火山である有珠山の特徴、火山と共存するための心構えを学ぶジオツアーを開催。

■ 北海道ジオパークまっりの実施 [振興局、市町、民間]



◀ 期間：令和4年6月25日～6月26日
場所：北海道博物館
概要：北海道内にある6つのジオパーク（洞爺湖有珠山ジオパーク、アポイ岳ジオパーク、白滝ジオパーク、三笠ジオパーク、とかち鹿追ジオパーク、十勝岳ジオパーク）と、ジオパークを目指す地域（大雪山カムイミンタラジオパーク構想）などが集まって、各地の魅力のPRを実施。

■ 謎解きイベント三笠周遊スマホ宝探しの実施 [振興局]



◀ 期間：令和4年7月16日～10月10日
場所：三笠市
概要：三笠市内に設置されたQRコードをスマートフォンまたはタブレットで読み込み、謎を解いていく「周遊型」の謎解きイベントを実施。

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
ジオパーク構成市町への観光入込客数	1,017万人 (R2)	1,610万人 (R4)	2,130万人 (R7)	75.6%

R6年度の主な取組

- NEXCOとの共催による「北海道ハイウェイショーエリア2024 in有珠山」の実施 [振興局]
- 周遊型謎解きイベントの開催を実施 [振興局]
- 自然保護官によるアポイ岳ジオパークガイドツアーの実施 [振興局]

縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）【連携地域を越えて取組を推進するエリア】石狩地域、胆振地域

目的

先人から受け継いだ貴重な財産への理解を深め、郷土の誇りと愛着を再認識することで、次世代へ継承していくとともに、この魅力ある地域資源を活用し、観光など地域産業の活性化に繋げていく。

これまでの主な取組・成果

●縄文文化の魅力発信と次世代への継承の推進

■世界遺産登録記念事業の開催

〔市教育委員会、道南縄文文化推進協議会、民間、振興局〕

・世界遺産登録1周年記念事業

概要：「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録1周年を記念したロゴマークの作成や、「JOMON WEEK in 2022 SUMMER」では、渡島管内の縄文関連展示施設を巡るスタンプラリーなどを実施。



■縄文に関する取組の発信〔振興局〕

・JOMON 渡島ネットワーク

概要：縄文を多くの方々を知っていたき、地域活性化につなげていくため、ネットワークに参加いただいている皆様の取組を振興局のホームページにて紹介。ネットワークには、85団体が参加中（特別会員含む）。



●遺産を活用した誘客促進

■道外商業施設等でPR活動の実施〔振興局〕

・縄文関連ワークショップの実施

開催日：令和5年2月

場所：東京都（新宿高島屋）、兵庫県（神戸ハーバーランド）

概要：世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」及び縄文文化の普及啓発のため、縄文グッズ作り体験やパンフレットの配布を実施。



■縄文文化の活用〔振興局〕

・「JOMON CULTURE STYLE BOOK」

概要：縄文時代のライフスタイルと関連性の深い「食・ものづくり・自然」の各分野で活躍する皆様にインタビューを行い、遺跡や展示施設を解説するガイドブックとは違った角度から「渡島の縄文」を紹介。



評価指標（KPI）

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
渡島管内への観光入込客数	688万人（R2）	1,023万人（R4）	1,371万人（R6）	74.6%

R6年度の主な取組

■縄文文化継承の担い手意識醸成に向けた、地元高校生による幼児・児童向けに縄文の魅力を伝える普及活動等の実施〔振興局〕

■公共施設等でのパネル展等の実施、企業と連携した縄文文化の普及啓発イベントの開催〔振興局等〕

未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト

【推進エリア】空知地域

目的 管内産業の持続的な発展に向けて、基幹産業である農業分野などで、「北海道Society5.0推進計画」に示されるICT等の先進技術の導入を積極的に進め、生産性向上や担い手の育成・確保を図るほか、空知産農産物のブランド化を推進していく。併せて、地域特性を活かした企業・研究機関等の誘致促進やものづくり産業人材の確保・定着を進めながら、さらなる産業の振興に取り組む。

これまでの主な取組・成果

■ ICTの活用に向けた実証実験などによるスマート農業の普及・促進 [振興局]



◀空知スマートアグリシンポジウム2022

開催日：令和4年12月8日
 場 所：岩見沢市
 概 要：農業用ドローンの将来像をテーマに基調講演やパネルディスカッションを実施。企業による先端のスマート農業機材の展示も実施。

■ 一次事業者及び加工事業者とバイヤーの商談会を実施 [振興局]



◀ 食のビジネスマッチングin空知2023
 開催日：令和5年2月21日
 場 所：岩見沢平安閣
 概 要：販路拡大を進めたい管内の食品関連事業者を対象に、飲食店や卸売業者等との新規取引を目指した個別商談会を実施。

■ 次世代の農村体験型農業体験、高校生と小学生による農業体験及び高校生による成果発表と食育フォーラムの開催 [振興局]

開催日：令和5年1月16日
 場 所：空知総合振興局4階講堂（岩見沢市）
 概 要：岩見沢農業高等学校から食育に関する発表があり、講師による食育に関する講演及びスマート農業に関する講演を実施。

■ インターネット販売による販路拡大を目指し、ECサイト活用セミナーを開催 [振興局]

開催日：令和4年7月29日
 場 所：岩見沢市文化センター 2階音楽室
 ZOOM（オンライン）

概 要：空知管内の1次事業者、食品加工事業者を対象に、ECサイト開業のための基礎を学ぶセミナーを実施。



評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
空知の耕作面積の維持	113,600ha (R2)	113,500ha (R4)	113,600ha (R7)	99.9%
新規高卒者管内企業就職率	60.9% (R2)	60.3% (R4)	63.9% (R6)	94.4%

R6年度の主な取組

- カーボンクレジットを通じた環境負荷軽減等新たな農業モデルの普及・促進 [振興局]
- 取引拡大に繋げるため、管内生産現場へのバイヤー招へいの実施 [振興局]
- 関係団体や地域おこし協力隊と連携し、良質な農産物を活用した新商品開発、ブランド化の推進 [市町]

地域の歴史や資源を活かした空知の魅力発信プロジェクト

【推進エリア】空知地域

目的 空知地域は、日本遺産「炭鉄港」をはじめ、ワインや日本酒、花など空知ならではの地域資源を有し、近年では、美しい田園風景を活かしたサイクルツーリズムなども実施されている。こうした地域資源を引き続き活用して、魅力の積極的な発信や食と観光の振興を図り、北海道ブランドの強化や国内外との人と物の流れの創出を推進する。

これまでの主な取組・成果

■ ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」及びSNSを活用した情報発信 [振興局・市町]



概要：「そらち・デ・ビュー」やSNSにより、空知の様々な情報や魅力を発信し、新たな空知ファンの獲得に向けたSNS上のキャンペーンを展開。
ウェブサイトのPV数：約43万回（R4年度）

■ そらち応援大使（鈴木貴之氏）やそらち食の応援アンバサダー（佐藤麻美氏）と連携し、空知の「食」の魅力を紹介するプロモーション [振興局・市町]

開催日：令和4年10月1日（土）

概要：そらち応援大使やそらち食の応援アンバサダーがMCとなり、YouTubeによるLIVE配信により、中継や料理映像、クイズ等を交えて空知の魅力を紹介。

当日視聴数：2,259 同時接続人数：838人



■ 「畑でレストラン」の開催 [振興局]

開催日：令和4年9月19日

場所：岩見沢市観光協会宝水ワイナリー

概要：ぶどう畑に臨む青空の下で1日限りの「ランチレストラン」を開店し、北海道で活躍する人気シェフが畑の野菜を使ったスペシャルランチコースを提供。



■ 北海道そらちグルメフォンドへの参画 [市町]

開催日：令和4年8月21日

対象地域：岩見沢市、栗山町、

由仁町、長沼町、南幌町

概要：北海道そらちグルメフォンド主催、管内9市町と岩見沢市観光協会が共催したサイクリングイベント



評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
「そらち・デ・ビュー」公式SNSのフォロワー数	6,522人 (R2)	14,221人 (R4)	14,500人 (R7)	98.0%
管内への観光入込客数	1,232万人 (R1)	1,159.6万人 (R4)	1,278万人 (R6)	90.7%
移住相談件数	574件 (R2)	821件 (R4)	687件 (R7)	119.5%

R6年度の主な取組

- 空知管内への移住促進に向けて、ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」において移住者ロールモデルの紹介 [北海道空知地域創生協議会]
- 魅力ある地域資源を活かしたアクティビティを通じて子どもたちのゼロカーボンへの理解を深めるキャンプ（合宿）プログラムの開催 [振興局、市町]
- 旅行会社やメディア招へいの上、管内ATコンテンツを視察することで旅行商品の造成を促す [振興局]

空知と多様な形で関わりを持つ人材創出プロジェクト

【推進エリア】空知地域

目的 道内の中でも、特に厳しい人口減少が続く空知地域において、将来にわたって住み続けられるよう、オール空知の連携を深めながら、地域医療や福祉の充実、生活交通の維持・確保をはじめとした安心で住み良い暮らしの形成や新規高卒者の地元就職などの雇用対策を進めるほか、管内自治体・民間企業と連携し、地域住民のシビックプライド醸成を図りながら次世代リーダーを育成するとともに、地域の「しごと」「住まい」「暮らし」に関する一体的な情報発信などによる移住・定住対策や、ワーケーションなど多様で柔軟な働き方の受入体制の確保など、関係人口の創出・拡大を図る。

これまでの主な取組・成果

■ ソラシル未来プロジェクトの実施 [振興局・市町]

概要：振興局と市町の若手職員が協力し、地域住民のシビックプライド醸成に資する取組を展開



南空知
デジタル冊子「ソラシルCAMP」
(キャンプ場と周辺の地域資源を紹介)



中空知
謎解きゲーム「ナカソラチ探索物語」
(構成市町に関する問題を出題)



北空知
キタソラレシピコンテスト
(北空知産の食材や加工品を使用した
レシピカードを作成)

■ 新規高卒者の地元就職の促進 [振興局]

開催日：令和4年6月20日・23日
場所：岩見沢市(20日)・砂川市(23日)
概要：高校生と就職指導教員を対象に、説明会を実施。地元企業のPR機会とし就職定着を図った。



地元就職応援フェア「地元企業合同説明会」▲

■ 関係人口の拡大に向けた情報発信

概要：ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」や振興局HPにおいて、「空知流テレワーク」や「空知のワーケーション」に関する情報発信を展開



評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
新規高卒者管内企業就職率 (再掲)	60.9% (R2)	60.3% (R4)	63.9% (R6)	94.4%
移住相談件数 (再掲)	574件 (R2)	821件 (R4)	687件 (R7)	119.5%
認定こども園設置数	20カ所 (R2)	20カ所 (R4)	22カ所 (R7)	90.9%

R6年度の主な取組

- ICTを活用した地域交通セミナーの開催やバス運転体験・就職相談の開催 [振興局]
- 移住定住情報の発信や移住フェアによるPR [市町]
- 子育て関連支援センター事業の実施や病児保育施設の設置 [市町]

石狩の若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト

目的

若者の道外への人口流出を抑制するため、教育機関や市町村、地元企業等との連携により、新規学卒者等の地元就職・地元定着の促進を図るとともに、新たな就農環境づくりや企業誘致などによる雇用の場の創出に取り組む。首都圏などの道外から人を呼び込むため、石狩地域で生活する魅力の発信や新たな生活様式に対応した働き方を推進しながら、関係人口の創出や拡大、移住・定住の促進に取り組む。

これまでの主な取組・成果

●若者の地元定着・就業に向けた取組 [振興局、市町村、民間]



■大学生の地域活動支援（振興局）

- ▶連携大学：北海学園大学、札幌学院大学、札幌大谷短大、文教大学（埼玉県）
- ▶概要：学生の地域への理解促進や愛着醸成を図るため、大学との連携により学生の地域活動を支援



■創業支援事業の実施（当別町）

- ▶開催日：令和4年10月4、15、22、29日
- ▶開催場所：当別町商工会
- ▶概要：創業に関心のある方、新規創業を目指す方、創業後、間もない方を対象として、創業に関する知識を習得するための講義の開催（令和4年度受講者数：13名）

●地域産業の活性化や企業誘致等による雇用の場の創出 [振興局、市町村、民間]



■農業体験ツアー（江別市）

- ▶開催日：令和4年8月6日(土)・9月10日(土)
- ▶場所：市内圃場（美原地区・豊幌地区）など
- ▶概要：農作物の収穫体験を行うと共に、生産者から日々の農作業や作物の栽培方法について説明を受け、地域農業への理解、関心を高めるツアー。生産者を交えた昼食交流会も実施している。

●道外からのU・I・Jターンの促進 [振興局、市町村、民間]

■オンラインを活用した移住情報の発信（千歳市）



- ▶概要：北海道U・Iターンフェア→首都圏等に在住する地方就職希望者の促進（R4で廃止）しごと情報発信サイト「ちとせの仕事」→千歳市の求人情報を掲載し、人材の確保と移住・定住の促進を図る。
- ▶実績：北海道U・Iターンフェア：2件（R4実績）
「ちとせの仕事」：ユーザー数 14,507人（R4実績）

主な評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
新規大卒道内就職者の3年以内の離職率	36.4%（R1）	33.9%（R4）	前年度より改善	—
石狩地域の新規学卒・参入者の就農者数	16人（R2）	8人（R4） （延べ22人）	延べ80人増 （R3～R7）	27.5%
若年層（15～29歳）の首都圏への転出超過数	3,352人（H30）	2,782（R4）	3,139人（R6）	112.8%

R6年度の主な取組

- 管内大学と連携した大学生の地域活動や体験ツアーによる若者の地元定着の促進 [市町村、民間、振興局]
- セミナーや勉強会による農商工連携や6次産業化の推進 [市町村、民間、振興局]
- ポータルサイトや移住フェア参加を通じた、関係人口の創出・拡大、移住・定住の促進 [市町村、民間、振興局]

石狩観光スタイルと石狩の食の魅力ブランド化推進プロジェクト

目的

道内をはじめとした国内外の交流人口や関係人口の拡大を図るため、都市と自然とを十分に満喫することができる石狩地域の特性を活かし、地域や観光事業者等との連携により魅力ある観光情報やさらなる発展が期待される地域の魅力を発信しながら、観光客を石狩地域へ誘引する取組を進めるとともに、おもてなし環境の整備やワーケーションなどを取り入れた新たな観光メニュー開発や地域の食のブランドづくりを推進する。

これまでの主な取組・成果

●石狩観光スタイルの推進に向けた魅力発信 [振興局、市町村、民間]



■観光客を管内へ誘引するプラスワン観光の推進 (振興局)
 ▶概要：afterコロナの観光入込需要の回復に資するため、令和4年9月に東京ビッグサイトで開催された「ツーリズムEXPO2022」に、市町村や観光協会等と共に参加し、管内の観光情報等の発信・PR等を行った。また、道内外で開催した「いしかりフェア」などの各種プロモーション等の機会を活用し、石狩管内の観光や食の魅力について積極的なPRを実施した。



■星座観測会の実施 (新篠津村)
 ▶概要：都市近郊ながらまち明りが少なく、平坦で全天を見渡せるという特徴が天体観測に向いていることから、令和3年に星座観測場を開設し、天文ファンを集める観測会を実施。
 (R3年度3回、R4年度2回実施)
 令和5年度には大型天体望遠鏡を備えた天文台施設を開設予定。

●様々な観光客に向けたおもてなし環境の整備・充実 [振興局、市町村、民間]



■シェアサイクル事業の実施 (恵庭市)
 ▶概要：スマホアプリを利用し、市内3カ所にあるサイクルポートで24時間いつでも自転車をレンタルすることができる(電動アシスト付き自転車 計14台)
 運営期間：4月28日～10月31日
 サイクルポート：恵庭駅・恵み野駅・花の拠点はなふる
 料金：1時間 220円 4時間 660円 12時間 1,980円

●新たな観光メニューの開発や地域の食のブランド化の推進と魅力発掘 [市町村、民間、振興局]



■地域の食のブランド化に向けた取組の推進 (振興局)
 ▶概要：令和5年2月に北海道どさんこプラザ羽田空港店で、首都圏で初となる「北海道いしかりフェア」を開催し、管内特産品販売や観光パンフレットを配布するなど、石狩地域の食と観光の魅力をPRした。また、石狩地域の食材を使った料理のメニューを提供するレストランフェアを札幌市内のホテルで開催した。

主な評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
観光入込客数	1,336万人 (R2)	2,324万人 (R4)	3,100万人 (R7)	75.0%
農商工連携・6次産業化支援データベースの新規登録件数	12件 (R2)	7件 (R4) (累計27件)	累計38件以上 (R6)	71.1%
石狩の食の商品開発及び販路拡大等の相談機会の確保 (相談件数)	28件 (R4)	28件 (R4)	累計60件以上 (R6)	46.7%

R6年度の主な取組

- 国内外での積極的なプロモーション活動やSNSの活用などにより観光客を札幌周辺地域へ誘引するプラスワン観光の推進 [振興局]
- ウェブサイトやSNSによる観光情報の発信 [市町村、民間、振興局]
- 多言語化での地域のおもてなし環境の整備 [市町村、民間、振興局]

安心して子どもを産み育てられる“いしかり”環境づくり促進プロジェクト

目的

少子化などによる地域活力の低下に歯止めをかけるため、都市地域の特性や課題を踏まえながら、市町村等と連携し、地域で出産・子育てを支え見守る取組の充実を図るとともに、子育てをしながら働き続けられるよう、企業に対して誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を実施する。

これまでの主な取組・成果

● 出産・子育てを地域で支える環境づくり [市町村、民間、振興局]

■ 地域子育て支援拠点ネットワーク会議の開催 (振興局)

- ▶開催日：令和5年2月27日
- ▶参加者：22名
- ▶概要：・講演「子どもも親も元気になる子育て・子育て」
・質疑・意見交換
・グループワーク



■ 子育て世代包括支援事業による「きたひろすくすくねっと」の実施 (北広島市)

- ▶概要：妊娠期から幼児期までの総合相談窓口です。保健師と保育士が連携して、切れ目ないサポートを行う。
- ▶実績：(R3年度) 相談件数 延1,749件
(R4年度) 相談件数 延2,201件

● 働き方改革やワーク・ライフ・バランス実現に向けた企業の意識醸成 [市町村、民間、振興局]

■ 働き方改革に向けた企業の取組を推進するための出前講座・コンサルティング支援の実施 (札幌市)

- ▶概要：あらゆる人が活躍しやすい労働環境整備の促進を目的に、セミナーの開催や出前講座・コンサルティング支援の実施、テレワークの導入・補助金申請に係る相談受付や支援を行う。
- ▶実績：セミナー 30回開催、出前講座 10社実施
コンサルティング支援 10社実施
補助金申請件数 134件、交付決定件数 111件



■ 子育て応援企業表彰 (恵庭市)

- ▶概要：結婚支援、仕事と家庭が両立できる職場環境づくり、子育て支援に積極的に取り組む企業を表彰することで、市内企業の次世代育成支援の推進や、子育てしやすい社会環境づくりのための意識を向上し、地域全体で子育て世代を応援し安心して子どもを産み育てることができる社会を実現する。
- ▶実績：R2年度3件、R3年度4件、R4年度2件



主な評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
地域子育て支援拠点数	36拠点 (R2)	37拠点 (R4)	38拠点 (R6)	97.4%
北海道働き方改革推進企業認定制度の認定企業数	109企業 (R2)	149企業 (R4)	204企業 (R7)	73.0%

R6年度の主な取組

- 管内小中学生の地域愛着及び誇りの醸成を促進するため、小中学校への出前授業、体験学習の実施 [振興局]
- アプリ等を利用した子育て支援等の情報発信 [市町村、民間、振興局]
- ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、意識啓発セミナーの開催や認定制度の推進 [市町村、民間、振興局]

自然環境と調和した誰もが安心して暮らせる“いしかり”まちづくりプロジェクト

目的

地域の住民一人一人が安心して暮らし続けることができるよう、環境や生態系の保全、脱炭素（ゼロカーボン）の取組促進、不法投棄防止対策などにより豊かな自然環境を守り育てるとともに、地域コミュニティ機能の維持・発揮に向けた取組や感染症対策を踏まえた防災対策の推進など、誰にとっても住みやすく災害に強いまちづくりに取り組む。

これまでの主な取組・成果

●豊かな自然環境を守り育てる取組の推進 [振興局、市町村、民間]

■管内エゾシカ・ヒグマ対策

連絡協議会の開催 (振興局)

- ▶開催日：R5.3.27
- ▶概要：
 - ・エゾシカ対策及びヒグマ対策に関する協議・情報共有
 - ・ヒグマアクションプランの改定について協議



■環境普及啓発事業「FEELD GOOD FES」出展 (石狩市)

- ▶概要：環境と親和性の高い本イベントに出展し、環境問題に対する自発的な行動変容やライフスタイルの選択を促した（6/18・19、アンケート回収数：186人）。包括連携協定締結事業者の運営協力有



■JRロイズタウン駅前において地中熱を活用した融雪設備を導入 (当別町)

- ▶概要：地域資源である地中熱の活用による、冬季における利用者の利便性の向上

●誰もが安心して暮らせる社会の形成 [振興局、市町村、民間]

■不法投棄監視パトロール (振興局、各市町村)

●防災対策の強化による安全なまちづくり [市町村、民間、振興局]

■札幌管区气象台と「防災情報に関する担当者会議」の共催 (札幌市)

■防災教育セミナー開催 (札幌市)

主な評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
協働により実施する石狩地域での木育活動	12回 (R1)	19回 (R4)	22回 (R7)	86.4%
石狩地域のエゾシカ捕獲推進プラン目標数の達成	—	2,045/2,700 (R4)	毎年度設定	75.7%
石狩地域の自主防災組織 活動カバー率	61.6% (R2) (全国平均値 84.3%)	65.5% (R4) (全国平均値 84.7%)	全国平均値	77.3%
石狩地域のクリーンパートナー登録団体数	96団体 (R2)	102団体 (R4)	150団体 (R7)	68.0%

R6年度の主な取組

- 有害鳥獣捕獲業務やヒグマの防除・駆除 [市町村、民間、振興局]
- 脱炭素（ゼロカーボン）の取組への関心と理解を深めることを目的とした普及啓発を実施 [市町村、民間、振興局]
- 関係機関との情報共有会議等の場を通して、市町村並びに防災関係機関との連携強化を推進 [市町村、民間、振興局]

農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト

目的

担い手の確保や収益性の向上に向けた取組を推進し、農林水産業の持続的発展を図るとともに、豊富で良質な1次産品を活用した商品開発や情報発信などにより、高付加価値化やブランド化を促進する。

これまでの主な取組・成果

■ ShiriBeshi商談会の開催【振興局】

概要：後志管内の1次産品や加工品をホテルやレストランへ売り込む商談会を開催
 日時：令和4年10月20日
 場所：ニセコ町民センター大ホール
 参加者：出展者20団体
 来場者：20社 35名



ShiriBeshi商談会の様子

■ シャインマスカットの長期貯蔵技術の確立等、技術支援を実施【関係機関、振興局】

概要：シャインマスカットの生育ステージに応じた巡回指導、現地研修会、長期貯蔵技術の検証等の技術支援により出荷量が増加したほか、商談会・相談会への参加とPR活動を実施しブランド化を図り、本州産と比較して高値取引を実現

■ 「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進（民間施設における地域材利用推進の取組）【振興局】

概要：後志産木材を利用した建築用材の地材地消の促進を図るため、木材関連業者、リゾート開発会社及び市町村建築担当課職員などを対象とした地域材利用施設の見学会（バスツアー）や情報交換会を実施し、15名が参加

開催日：令和4年10月18日

場所：ニセコ町（ニセコ町役場庁舎、ニセコ蒸留所）

■ 「漁業就業体験事業」を実施【町、民間、振興局】

概要：漁業に関心を持つ人材（道内在住2名）を漁業者が受け入れ、定置漁業・底建網漁業や水産加工に係る就業体験を実施

日時：令和4年10月28日～11月1日

場所：寿都町（有戸漁港、寿都町沖）

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
新品種農産物（シャインマスカット）出荷量 【kg】	2,520 (R2)	5,117 (R4)	6,000 (R6)	85.2%
新規就農者数 【人】	34 (R1)	25 (R4)	34 (R7)	73.5%
管内製材・木材チップ工場における原木消費量 【m ³ 】	69,000 (R2)	69,757 (R4)	77,000 (R7)	90.5%
新規漁業就業者数 【人】	7 (R2)	7 (R4)	9 (R7)	77.7%

R6年度の主な取組

- ポータルサイト「しりべしワイン」による情報発信、セミナー及び商談会の開催
- 高付加価値化活動の強化として、レベルアップ講座の開催や新規就農者の支援体制強化のため意見交換会・研修会等を開催
- 各種イベント会場におけるパネル展など、ゼロカーボン北海道の推進及び地域利用促進に向けた普及・PR活動の実施
- コウナゴ漁期前調査による、最適な漁獲サイズへの成長時期予測や、商品価値の低い小型魚の漁獲回避など、資源の保護及び操業の効率化のほか、燃料消費の削減による温室効果ガスの排出量低減

国際観光リゾートエリアとしての持続可能な観光地づくりと広域観光展開プロジェクト

目的

国内客の呼び込みの拡大やポストコロナの観光需要回復を見据えたインバウンド受入体制の整備を推進するとともに、アドベンチャータラベル等の新たな観光資源の発掘・磨き上げや、地域内で作られる豊かな食資源を活かしたガストロノミーツーリズム等による広域観光や滞在・通年型観光の推進に取り組み、観光客が安心して楽しむことができる持続可能な観光地を目指す。

これまでの主な取組・成果

■ 酒と食をテーマとした広域観光推進会議の開催 [振興局・後志観光連盟]

概要：後志管内の豊富な食資源と豊かな景観や温泉など優れた観光資源を組み合わせた観光誘客と長期滞在を目指した会議を開催

・日時：令和5年3月24日 ・場所：後志総合振興局 ・参加者：17名

■ 後志管内ATコンテンツ磨き上げに向けたインフルエンサーの招へい [振興局・ニセコリゾート観光協会]

概要：2023年に北海道で開催されるアドベンチャータラベル・ワールドサミット（ATWS）を踏まえ、ATWS初日に開催される

管内の日帰りツアーに選定されているコース等に、外国人インフルエンサーを招へい

ツアーを体験してもらうことにより、コンテンツの磨き上げや情報発信を実施

・日時：令和4年9月1日～3日、9月6日～7日 ・場所：羊蹄山麓・積丹地域等 ・招へい者：4名

■ 北海道教育旅行説明会・商談会への参加 [振興局・後志観光連盟・北海道観光振興機構]

概要：教育旅行の誘致に向け、東北・北関東圏の学校、旅行会社に対して後志地域のPRやモデルルートの説明を行うとともに、教育旅事情のヒアリングを実施

・日時・場所：令和4年8月4日 宮城県仙台市

5日 埼玉県さいたま市

・後志管内参加者：小樽観光協会、ルスツリゾート

インフルエンサーによる投稿記事



評価指標 (KPI)

基準値(基準年)

実績値(実績年)

目標値(目標年)

進捗率

観光入込客数 【万人】

2,142 (R1)

1,543 (R4)

2,500 (R7)

61.7%

R6年度の主な取組

■ AT商品造成に向けた旅行会社等の講師による現地の観光コンテンツ実踏を行う相談会の開催

■ 雑誌への記事掲載や振興局サイト「Shiribeshi Wine」での情報発信によるワインツーリズムの推進等、ガストロノミーツーリズム等による滞在型・通年型観光の推進

ShiriBeshi多文化共生の「まち・ひと・しごと」づくりプロジェクト

目的

冬季間の短期滞在者の通年雇用化による産業の担い手確保や、道内外や国外からの移住・定住の促進のため、関係機関が連携して就業支援や人材育成への支援を行う。

また、地域における観光ビジネスや世界を相手に活躍できる人材育成に取り組むとともに、関係人口の創出・拡大や、増加する外国人住民とともに地域づくりを進めることで、多文化共生社会の実現に向けた取組を推進する。

これまでの主な取組・成果

■ ShiriBeshi留学の実施【町、民間、振興局】

概要：道内外の大学生等が、リゾート関連企業でのインターンシップや、地域の方々との交流を通じて学ぶ人材育成プログラム。サマープログラムとウインタープログラムを開催

- ・期間：サマープログラム 令和4年8月3日～9月1日
：ウインタープログラム 令和5年2月2日～3月7日
- ・場所：ニセコ町、倶知安町、岩内町
- ・参加者：計56名



※インターンシップの期間は参加者により異なる。

ShiriBeshi留学ウインタープログラム参加者

■ 若者向け合同企業説明会の開催【振興局】

概要：後志教育局などの関係機関と連携し、管内の高校生を対象として、将来ビジョンを描くためのキャリア教育を実施

また、職業選択の視野を広げる一助として、地元企業の概要や仕事の内容を周知することで、地元での就業促進を図るとともに、勤労観などを形成することで就職後の早期離職の抑制を図ることを目的として開催

- ・日時：令和4年7月19日
- ・参加者数：高校生154名、企業19社

主な評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
管内就職件数 (ハローワーク) 【件】	2,694 (R1)	2,226 (R4)	2,694 (R7)	82.6%
管内外国人住民数 【人】	3,447 (R2)	3,261 (R4)	5,200 (R7)	62.7%

R6年度の主な取組

- マッチング外国人対応窓口の運営、北海道移住・交流フェアでのPR
- しりべし「まち・ひと・しごと」推進ネットワーク協議会の運営、しりべしジョブフェアの開催
- 「ShiriBeshiグローバルインターンシップ」の実施

脱炭素社会を創造する「いぶり」産業展開プロジェクト

目的

脱炭素型社会に向けた取組を積極的に進めている胆振地域が、「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、本道の脱炭素化をリードするとともに、産業の持続的な発展に取り組む。

これまでの主な取組・成果

■TEAM「ゼロカーボンいぶり」セミナーの開催 [振興局]



◀ 期 間：令和5年3月23日(木)13:30~15:30
 場 所：グランドホテルニュー王子及びオンライン
 概 要：胆振地域のゼロカーボンに関する機運醸成と取組推進を目的に開催。
 セミナーでは、胆振地域の強みである「再生可能エネルギー」と「水素エネルギー」をテーマに、基調講演とパネルディスカッションを実施したほか、セミナー開催後は、胆振総合振興局で導入した燃料電池自動車のお披露目を実施。

■「再配達削減チャレンジ」を宣言 [市町]



◀ 概 要：SDGsの17の目標を達成させることや登別市が2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」への挑戦を表明したことから、登別市・北海道運輸局・佐川急便(株)・日本郵便(株)・ヤマト運輸(株)の5者で、市内での「再配達削減チャレンジ」を宣言。
 職場受取の推奨などの啓発チラシによる周知や宅配ボックス購入の補助を実施。

■管内の高校生や教員を対象としたものづくり企業の現場見学会を開催 [振興局]

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
道企業立地促進費補助金認定申請数	5件 (R2)	4件 (R4)	10件 (R7)	40.0%
製造業の付加価値生産性	1,438万円 (H30)	1,644万円 (R2)	1,805万円 (R7)	91.1%
従業員数4~29人の事業所における常用雇用者数	4,340人 (H30)	3,824人 (R2)	4,800人 (R7)	79.7%
電気自動車、燃料電池車、天然ガス自動車、プラグインハイブリッド自動車の合計台数(室蘭運輸支局管内)	601台 (R1)	782台 (R3)	1,500台 (R7)	52.2%
新エネルギー導入量(発電設備量)	86.7万kw (R2)	99.1万kw (R4)	122.2万kw (R7)	81.1%
間伐の実施面積	6,590ha (H27~R1累計)	2,632ha (R3~R4累計)	9,100ha (R3~R7累計)	28.9%

R6年度の主な取組

- ものづくり企業の新分野参入支援(宇宙産業セミナー、次世代半導体セミナーの開催)を実施 [振興局]
- 省エネ性能の高い家電への買い替えや既存住宅への太陽光発電設備及び定置型蓄電池導入の促進を実施 [市町]
- 小学生を対象とした再エネ工作教室の開催を実施 [市町]

住みたい・訪れたい「いぶり」地域づくりプロジェクト

目的

関係人口の創出・拡大に取り組むとともに、新鮮・多彩な食材の魅力発信や販路拡大の取り組みや地域の未来を支える人材の確保・育成や胆振東部地震からの着実な復旧と未来へつなぐ復興を進め、住みたい・訪れたい地域づくりの促進を図る。

これまでの主な取組・成果

■食・観光SNSプロモーションの実施 [振興局]



◀ 概要：地域の魅力発信を強化し、関係人口の増加を図るため「いぶり五大遺産」の価値や魅力を中心に観光及び移住を含め、管内の情報をもとめたポータルサイトを作成・公開。

■震災復興祈念 さくら植樹会の開催 [振興局]



◀ 開催：令和4年10月22日
場所：厚真町吉野地区
対象者：小中学生及びその保護者
概要：長期間にわたる森林再生の着実な推進に向け、震災記憶の風化防止や森林再生の理解促進を図るため、「あの日を忘れない」をスローガンに植樹会を開催。

■地域おこし協力隊との連携による移住・定住に向けた情報発信 [市町]

■道外企業に向けた管内市町のワーケーションPR [振興局]

■いぶり農業法人ネットワークと連携して、就農希望者へ雇用求人情報や「農林水産フェスト」に参加 [振興局]

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
管内への観光入込客数	1,618万人(R1)	1,418万人(R4)	1,794万人(R7)	79.0%
地域おこし協力隊の隊員数	53名(R2)	86名(R4)	59名(R7)	145.8%
食品工業の付加価値額	268億円(H30)	311億円(R2)	287億円(R7)	108.4%
新規就農者	98人(H28~R2累計)	38人(R3~R4累計)	121人(R3~R7累計)	31.4%
新規漁業就業者	103人(H28~R2累計)	8人(R3~R4累計)	113人(R3~R7累計)	7.1%
新規林業参入者数	34人(H27, H29, H31累計)	隔年調査(R3, 9人)	35人(R3, R5, R7累計)	25.7%
新規高卒者の管内就職内定率	71.8%(R2)	68.5%(R4)	73.0%(R7)	93.9%

R6年度の主な取組

- 首都圏のホテルやレストランのバイヤーを招へいしメニュー開発の実施 [振興局]
- アジア上質インバウンド誘客促進のためのモニターツアーの実施 [振興局]
- まちなか再生「復興拠点施設等整備事業」の推進を実施 [振興局]

「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大プロジェクト

目的

日高地域では、全国の約8割を占める軽種馬生産に加え、全道一の生産を誇るトマトやピーマンのほか、イチゴ、肉用牛、昆布、鮭（銀聖）、ウニ、マツカワなど様々な農水産物が生産されており、このような恵まれた農林水産物の生産振興対策を図るとともに、「ひだか」製品の知名度向上と販路拡大に取り組む。

これまでの主な取組・成果

■農林水産物の生産振興対策の推進

○キャトルセンターにおける乾草舎等の整備

〔振興局、町、民間〕

牧草の価格上昇対策として牧草を低価格時期に導入できるよう乾草舎等の整備を支援

【実績】乾草舎3棟等を整備

ホイルローダー1台導入
フォークリフト1台導入



■強い馬づくりに向けた軽種馬生産

○首都圏の競馬場での馬産地PRの支援

〔振興局、町、民間〕

馬産地ひだかを首都圏の競馬ファンにPRするため、船橋競馬場で協賛レースの実施や場内ビジョンでPR映像を放映した。

【実績】令和4年10月馬産地日高記念の実施



■「ひだか」製品の知名度向上と販路拡大

○日高の豊かな海の幸フェス

〔振興局、町、民間〕

主要魚種の不漁や赤潮被害などで今までにない打撃を受けた管内漁業者・漁協を応援し地域を盛り上げるため、令和3年度より「日高の豊かな海の幸フェス」を開催。

令和4年度はブリや日高昆布を使用した三笠高校レストランでの「日高の海の幸ランチフェア」や、日高のお魚ベストイレブンを決定するWeb人気投票「HiFA 2022」、日高昆布を使用したパンを販売する「パン屋さん de こんぶフェス」を実施した。

【実績】ランチフェア：245食完売

HiFA：応募総数380件

こんぶフェス：3店舗参加



評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
ウニの単価向上	8,600円/kg (R1)	12,665円/kg (R4)	14,100円/kg (R7)	89.8%
軽種馬生産規模の維持	5,873頭/年 (R1)	6,147頭/年 (R4)	5,900頭/年 (R7)	104.1%

R6年度の主な取組

■優駿日高道!!旅とグルメ「オールひだか いいものフェア」の開催〔振興局、民間〕

■「ひだか」製品の消費拡大を図るため、札幌圏のホテルでグルメフェアの開催〔振興局、町、民間〕

■軽種馬に従事する獣医師確保のため獣医学生を対象としたインターンシップを実施〔振興局、町、民間〕

「ひだか」の産業を支える人材確保・育成プロジェクト

目的

各産業の人材の確保・育成のため、教育機関と連携し将来の人材育成を進めるとともに、移住・定住の促進に向けた住環境の整備により転出の抑制や転入の増加を図り、持続可能な産業振興を目指す。

これまでの主な取組・成果

■移住・定住の促進に向けた住環境などの整備

○オンライン移住カフェ[振興局、町、民間]

振興局及び管内7町の移住担当者が日高管内の移住に関する情報に触れる機会として、日高地域の仕事や暮らしなどを紹介する「オンライン移住カフェ」を実施した。

【実績】令和4年度

- ・初夏編（6月） 34名参加
- ・しごと編（10月） 38名参加
- ・冬の暮らし編（2月）45名参加



■教育機関と連携・協働した人材の育成

○北海道日高地元しごとと魅力発見BOOK[振興局、民間]

地元の産業や仕事を管内高校生や都市圏に住む若者等に周知することを目的として、地元就職した若手社員へのインタビューを中心とした地元産業・企業紹介パンフレットを作成した。

【実績】管内7高校に410部配布



■一次産業をはじめとする各産業の担い手等の育成・確保

○ナナイロひだかサポーター制度創設[振興局、町、民間]

日高振興局職員が、地域の一次産業における副業や魅力発信の活動を通して、地域の働き手確保を図るナナイロひだかサポーター制度を創設した。

【実績】

令和4年度 振興局職員17名が副業に従事



主な評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
新規就業者数（農業）	14人 (R1)	12人 (R4)	25人 (R7)	48.0%
新規就業者数（漁業）	11人 (R2)	4人 (R4)	14人 (R7)	28.5%

R6年度の主な取組

- 職員の兼業など一次産業の働き手確保を目指したナナイロひだかサポーター制度の運営 [振興局、民間]
- 管内高校と連携した「ひだか高校生応援プロジェクト」の実施 [振興局、民間]
- オンライン移住カフェの開催や道外の移住相談会への参加 [振興局、町]

「ひだか」の魅力発信と観光の振興プロジェクト

目的

日高地域は、軽種馬生産による広大な牧場風景に加え、ユネスコ世界ジオパークのアポイ岳や、国立公園化が予定されている日高山脈襟裳国立公園、日高山脈から襟裳岬に連なる変化に富んだ海岸線が一体となった独特な景観が見られるなど、豊かな自然環境を有している。また、アイヌ文化が継承され、多様な食材の宝庫となっている。

これらの優れた地域資源を最大限活用し、民間事業者等とも連携しながら、「ひだか」ならではの魅力発信、広域観光の展開などにより、地域の活性化を図る。

これまでの主な取組・成果

■国内外に向けた「ひだか」の魅力の発信

○民間企業と連携した軽種馬の魅力発信と見学マナーの周知

【振興局、町、民間】

競走馬の約8割を生産し、数々の名馬を送り出してきた馬産地ひだかを訪れる競馬ファン・観光客に牧場見学のルールとマナーを周知するためのパンフレットを作成するとともに管内各地に株式会社Cygames協力のもと「ウマ娘 プリティーダービー」の等身大パネルを設置し地域の魅力を発信した。

【実績】等身大パネルを管内17か所に設置



■豊かな自然や食などの観光資源の開発・発掘

○日高山脈襟裳国立公園魅力発信フォーラム開催【振興局】

国立公園化の手続きが進められているアポイ岳ジオパークをはじめとした日高山脈襟裳国立公園と周辺地域の価値を見つめ直し、保護や利用のあり方について学ぶフォーラムの開催を通じて、ひだか地域の観光資源をPRした。

【実績】令和4年11月 来場者147名

■札幌・胆振・十勝圏域などからの誘客を図る広域観光の推進

○日高管内の魅力発信を行う物産展を開催

【振興局、町、民間】

道央圏の方々にオールひだかの魅力を発信するため、管内7町や関係機関等と連携し、観光PRや特産品の販売、日高自動車道整備効果パネルの展示のほか、子どもも楽しめる体験コーナーを設けるなど、工夫を凝らした観光物産展を開催した。

【実績】開催日時 令和4年9月4日

開催場所 北海道日本庁舎(赤れんが庁舎前庭)

来場者 約4,500人



主な評価指標 (KPI)

基準値(基準年)

実績値(実績年)

目標値(目標年)

進捗率

宿泊客延数

230千人(R1)

181千人(R4)

266千人(R7)

68.0%

R6年度の主な取組

■ひだか地域の観光PRや特産品の販売をJRA札幌競馬場等で実施【振興局、町、民間】

■日高山脈襟裳国立公園の国立化に向けた魅力発信【振興局、町、民間】

■アポイ岳・ピンネシリ登山マップの更新【振興局】

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
日本遺産「炭鉄港」 を活用した交流人口 拡大プロジェクト	炭鉄港推進協議会構成市町の観光入 込客数	7,250千人 (R2)	7,487千人	10,530千人				7,468千人 (R7)	141.0%
アイヌ文化等の地域 資源を活かした日胆 地域活性化プロジェ クト	胆振・日高地域への観光入込客数	1,040万人 (R2)	1,070万人	1,571万人				1,994万人 (R7)	78.8%
道内ジオパークの連 携による地域力向上 プロジェクト	ジオパーク構成市町への観光入込客 数	1,017万人 (R2)	979万人	1,610万人				2,130万人 (R7)	75.6%
縄文遺跡群を活用し た魅力発信と誘客促 進プロジェクト	観光入込客数（渡島地域）	688万人 (R2)	774万人	1,023万人				1,371万人 (R6)	74.6%
	観光入込客数（檜山地域）	105万人 (R2)	102万人	113万人				150万人 (R6)	75.3%
	観光入込客数（胆振地域）	931万人 (R2)	948万人	1,418万人				1,764万人 (R6)	80.4%
	観光入込客数（石狩地域）	1,336万人 (R2)	1,577万人	2,324万人				3,100万人 (R7)	75.0%
	多言語化など、縄文文化の理解促進 に向けて新たな取り組みを行った施 設数（渡島地域）	1施設 (R2)	10施設	11施設				11施設 (R7)	100.0%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト	空知の耕作面積の維持	113,600ha (R2)	113,600ha	113,500ha				113,600ha (R7)	99.9%
	新規高卒者管内企業就職率	60.9% (R2)	59.5%	60.3%				63.9% (R6)	94.4%
地域の歴史や資源を活かした空知の魅力発信プロジェクト	「そらち・デ・ビュー」公式SNSのフォロワー数	6,522人 (R2)	10,101人	14,221人				14,500人 (R7)	98.0%
	管内への観光入込客数	1,232万人 (R1)	852万人	1,159.6万人				1,278万人 (R6)	90.7%
	移住相談件数	574件 (R2)	777件	821件				687件 (R7)	119.5%
空知と多様な形に関わりを持つ人材創出プロジェクト	新規高卒者管内企業就職率（再掲）	60.9% (R2)	59.5%	60.3%				63.9% (R6)	94.4%
	移住相談件数（再掲）	574件 (R2)	777件	821件				687件 (R7)	119.5%
	認定こども園設置数	20カ所 (R2)	20カ所	20カ所				22カ所 (R7)	90.9%
石狩の若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト	新規大卒道内就職者の3年以内の離職率	36.4% (R1)	34.6%	33.9%				前年度より改善 (R7)	—
	石狩地域の新規学卒・参加者の就農者数	16人 (R2)	14人	8人 (延べ22人)				5年間(R3～R7)で延べ80人増	27.5%
	若年層（15～29歳）の首都圏への転出超過数	3,352人 (H30)	2,400人	2,782人				3,139人 (R6)	112.8%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 （基準年）	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 （目標年）	進捗率
石狩観光スタイルと 石狩の食の魅力ブラン ド化推進プロジェクト	観光入込客数	1,336万人 (R2)	1,577万人	2,324万人				3,100万人 (R7)	75.0%
	農商工連携・6次産業化支援デー タベースの新規登録件数 (R2～R6の5年間で新規登録38件 以上)	12件 (R2)	8件 (累計20件)	7件 (累計27件)				累計38件以上 (R6)	71.1%
	石狩の食の商品開発及び販路拡大 等の相談機会の確保（相談件数） (R4～R6の3年間で60件以上)	28件 (R4)	—	28件				60件以上 (R6)	46.7%
安心して子どもを生き 育てられる“いしかり” 環境づくり促進プロ ジェクト	地域子育て支援拠点数	36拠点 (R2)	36拠点	37拠点				38拠点 (R6)	97.4%
	北海道働き方改革推進企業認定制 度の認定企業数	109企業 (R2)	139企業	149企業				204企業 (R7)	73.0%
自然環境と調和した誰 もが安心して暮らせる “いしかり”まちづく りプロジェクト	協働により実施する石狩地域での 木育活動	12回 (R1)	13回	19回				22回 (R7)	86.4%
	石狩地域のエゾシカ捕獲推進プラ ン目標数の達成	—	1,736 /1,800	2,045 /2,700				毎年度設定	75.7%
	石狩地域の自主防災組織活動カ バー率	61.6% (R2)	65.4% (84.4%)	65.5% (84.7%)				全国平均値	77.3%
	石狩地域のクリーンパートナー 登録団体数	96団体 (R2)	97団体	102団体				150団体 (R7)	68.0%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト	新品種農産物（シャインマスカット）出荷量	2,520kg (R2)	3,077kg	5,117kg				6,000kg (R6)	85.2%
	新規就農者数	34人 (R1)	33人	25人				34人 (R7)	73.5%
	管内製材・木材チップ工場における原木消費量	69,000m ³ (R2)	69,852m ³	69,757m ³				77,000m ³ (R7)	90.5%
	新規漁業就業者数	7人 (R2)	6人	7人				9人 (R7)	77.7%
国際観光リゾートエリアとしての持続可能な観光地づくりと広域観光展開プロジェクト	観光入込客数	2,142万人 (R1)	1,034万人	1,543万人				2,500万人 (R7)	61.7%
ShiriBeshi多文化共生の「まち・ひと・しごと」づくりプロジェクト	管内就職件数（ハローワーク）	2,694人 (R1)	2,130人	2,226人				2,694人 (R7)	82.6%
	管内外国人住民数	3,447人 (R2)	2,565人	3,261人				5,200人 (R7)	62.7%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 （基準年）	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 （目標年）	進捗率
脱炭素社会を創造する 「いぶり」産業展開プロジェクト	道企業立地促進費補助金認定申請数	5件 (R2)	2件	4件				10件 (R7)	40.0%
	製造業の付加価値生産性	1,438万円 (H30)	1,619万円 (R1実績)	1,644万円 (R2実績)				1,805万円 (R7)	91.1%
	従業員数4～29人の事務所における常用雇用者数	4,340人 (H30)	4,185人 (R1実績)	3,824人 (R2実績)				4,800人 (R7)	79.7%
	電気自動車、燃料電池車、天然ガス自動車、プラグインハイブリット自動車の合計台数（室蘭運輸支局管内）	601台 (R1)	658台 (R2実績)	782台 (R3実績)				1,500台 (R7)	52.2%
	新エネルギー導入量（発電設備容量）	86.7万kW (R2)	89.0万kW	99.1万kW				122.2万kW (R7)	81.1%
	間伐の実施面積	6,590ha (H27～R1 累計)	982ha	1,650ha				9,100ha (R3～R7 累計)	28.9%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
住みたい・訪れたい 「いぶり」地域づくり プロジェクト	管内への観光入込客数	1,618万人 (R1)	948万人	1,418万人				1,794万人 (R7)	79.0%
	地域おこし協力隊の隊員数	53名 (R2)	76名	86名				59名 (R7)	145.8%
	食品工業の付加価値額	268億円 (H30)	297億円 (R1実績)	311億円 (R2実績)				287億円 (R7)	108.4%
	新規就農者	98人 (H28-R2累計)	23人	15人				121人 (R3-R7累計)	31.4%
	新規漁業就業者数	103人 (H28-R2累計)	5人	3人				113人 (R3-R7累計)	7.1%
	新規林業参入者数	34人 (H27, H29, H31 累計)	9人	隔年調査				35人 (R3, R5, R7累計)	25.7%
	新規高卒者の管内就職内定率	71.8% (R2)	70.7%	68.5%				73.0% (R7)	93.9%

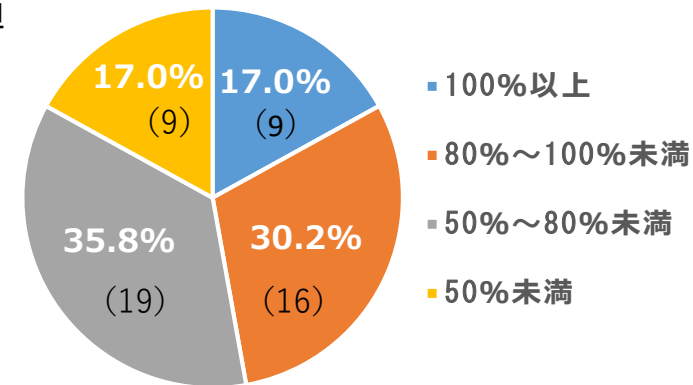
評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大プロジェクト	ウニの単価向上	8,600円/kg (R1)	12,470円/kg	12,665円/kg				14,100円/kg (R7)	89.8%
	軽種馬生産規模の維持	5,873頭/年 (R1)	6,165頭/年	6,147頭/年				5,900頭/年 (R7)	104.1%
「ひだか」の産業を支える人材確保・育成プロジェクト	新規就業者数（農業）	14人 (R1)	19人	12人				25人	48.0%
	新規就業者数（漁業）	11人 (R2)	9人	4人				14人	28.5%
「ひだか」の魅力発信と観光の振興プロジェクト	宿泊客延数	230千人 (R1)	157千人	181千人				266千人 (R7)	68.0%

分析・対応方向

- ・ 全体評価指標のうち、25の指標が進捗率80%を超え、9項目が目標値を達成している。
- ・ 空知管内では、「そらち・デ・ビュー」公式SNSのフォロワー数が着実に増加しており、胆振管内では、地域おこし協力隊の隊員数が目標値を大きく上回るなど、地域に関心を持つ方が増加していると考えられる。
- ・ また、一次産業では、後志管内のシャインマスカットの出荷量や日高管内のウニの単価向上、軽種馬生産頭数などは順調に推移している。
- ・ 一方、各産業における担い手の確保については、目標値を達成できていない地域もあるため、移住・定住の促進や人材確保対策について引き続き粘り強く取り組む必要がある。
- ・ 令和6年度の実施については、市町村をはじめとした関係機関と連携しながら、各プロジェクトの目標達成に向け、積極的な推進を図って参りたい。

評価指標全体



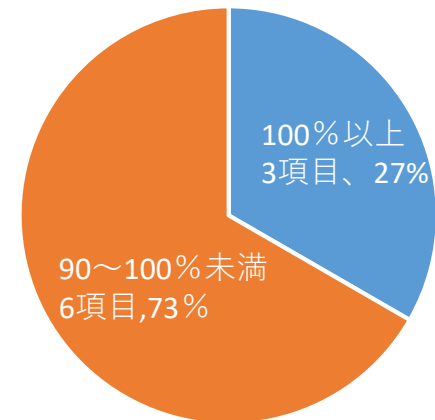
評価指標（KPI）一覧

分析・対応方向（空知総合振興局）

- ・ 9つの評価指標のうち、全てが進捗率90%を超えている。（2つは再掲）
- ・ 空知の耕作面積は、スマート農業をはじめとした省力化技術の活用により、減少率は若干に留まっている。
- ・ 新規高卒者管内企業就職率は、前年度から0.8ポイント上昇し、基準値まで回復しつつある。
- ・ 「そらち・デ・ビュー」公式SNSのフォロワー数は、基準値のおよそ2倍となった。
- ・ 認定こども園設置数は、現状維持となった。
- ・ 観光入込客数については、令和4年3月21日に北海道へのまん延防止等重点措置が解除されたことや「どうみん割」等の旅行支援の実施に伴い、観光需要が持ち直したことにより、増加傾向となっている。
- ・ 移住相談件数については、オンライン相談の強化により増加傾向となっている。

- ・ 今後については、新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、人々の往来がより活発になると予想されるため、引き続き市町や関係機関と協力しながら、各プロジェクトの取組を推進・充実させ、目標達成を図る。

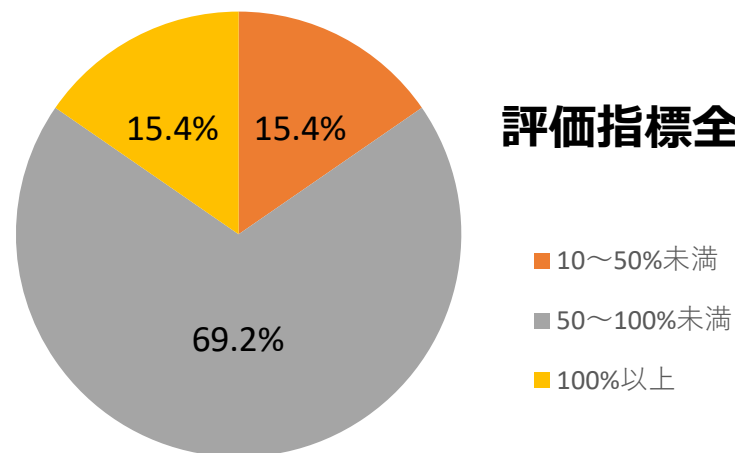
評価指数全体の進捗率



評価指標（KPI）一覧

分析・対応方向（石狩地域）

- ・ 13の評価指標のうち、進捗率が50%未満である指標が2つ、進捗率50%を超える指標が9つ、進捗率100%以上が2つとなっており、2つの指標が目標値を達成。
- ・ 若年層（15～29歳）の首都圏への転出超過数は、基準値より下回っているものの、令和3年度より悪化していることから、新型コロナウイルス感染症が収束した影響もあるものと想定されるため、引き続き、管内大学と連携した大学生の域活動や体験ツアーによる若者の地元定着の促進を図り、指標の推移を注視していく。
- ・ 地域の食のブランド力向上に向けた取組として、首都圏で初となる「北海道いしかりフェア」を開催。今後も国内外での積極的なプロモーション活動やSNS活動などにより観光客を札幌周辺地域へ誘引するプラスワン観光の推進をしていく。
- ・ 北海道働き方改革推進企業認定制度の認定企業数が増加傾向にあり、順調に推移している。
都市地域の特性や課題を踏まえながら市町村等と連携し、安心して子どもを生み育てられる環境づくりに向けた取組を実施する。



評価指標（KPI）一覧

分析・対応方向（後志地域）

- 7の評価指標のうち「製材・木材チップ工場における原木消費量」は進捗率90%を超えた。
- シャインマスカットの出荷量は、技術支援やPR活動等、ブランド化の効果で2,040 kg増加【3,077 kg (R3) → 5,117 kg (R4)】
- 新規漁業就業者数は、前年度とほぼ同水準で推移【6人 (R3) → 7人 (R4)】
- 入国規制緩和の影響で、管内就職件数（96件増）及び外国人住民数（696人増）ともに増加
 - ・管内就職件数 【2,130人 (R3) → 2,226人 (R4)】
 - ・管内外国人住民数【2,565人 (R3) → 3,261人 (R4)】
- R5年度においては、主に以下の取組方向で進捗率の向上を目指す。

○農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト

- ・生産者への生育ステージに応じた技術支援の継続等により1次産品等の高付加価値化に向け強化を図るとともに、商談会等の開催を通じて食のブランド力の向上を図る。
- ・農林水産業就業者の担い手確保のため、道内外の人材を対象にした就業体験等の支援事業を継続実施する。

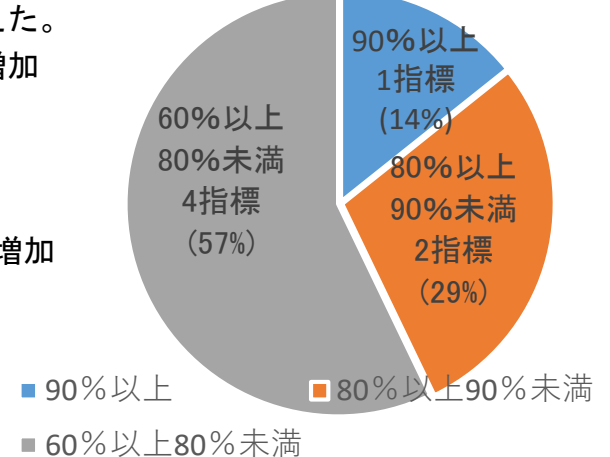
○国際観光リゾートエリアとしての持続可能な観光地づくりと広域観光展開プロジェクト

- ・アドベンチャートラベル等の新たな観光資源の発掘及び磨き上げやインバウンド誘致に向けたプロモーションを実施し、滞在型・通年型の広域観光を推進する。

○ShiriBeshi多文化共生の「まち・ひと・しごと」づくりプロジェクト

- ・若者を対象としたインターンシップを通じて地域と交流するShiriBeshiグローバルインターンシップ等のプログラムを実施するほか、外国人雇用セミナー等の開催や就業希望者への窓口サポートの運営、就業フェアの開催等を継続して行い、道内外や国外からの移住・定住を促進する。

KPI達成率

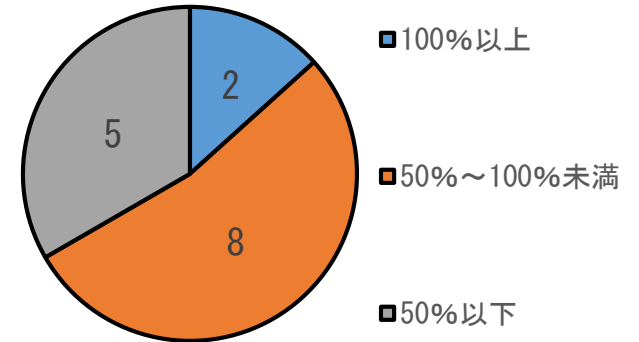


評価指標（KPI）一覧

分析・対応方向（胆振地域）

- ・ 15の評価指標のうち、10が進捗率50%を超え、内2つが目標値を達成している。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響等により、常用雇用者数や新規高卒者の管内就職内定率などの複数の指標において、進捗が低調にとどまった一方で、テレワークや地方移住への関心の高まりは、地域おこし協力隊の隊員数などの指標の進捗につながった側面もあると考えられる。
- ・ 令和5年度の取組にあたっては、ものづくり企業や林業現場の見学会、新規就農フェアの開催など、引き続き、胆振地域の産業を支える人材の確保に注力していくとともに、インバウンドをはじめとしたコロナ禍からの需要回復や、本道における次世代半導体産業進出などの新たな動きを、各指標の進捗につなげていけるよう、関係機関と連携しながら、各プロジェクトを推進していく。

評価指標全体

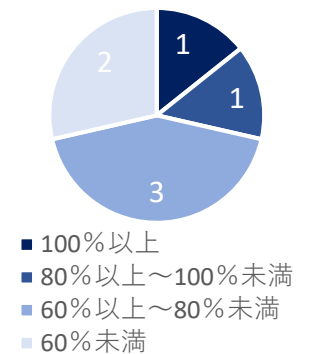


分析・対応方向（日高地域）

○各評価指標は、4つの項目で前年比プラスとなっており、また、2つの項目は目標に対する進捗率が80%を超えているなど、概ね順調に推移している。今後も地域との連携・協働を一層強化していきながら、振興局においては地域政策推進事業を中心に、各プロジェクトの推進を図る。

- ・ 「ウニの単価向上」は、需要の拡大により進捗率は順調に推移しており、「軽種馬生産規模の維持」については、目標値を達成している。
- ・ 「新規就業者数（農業）」は、新・農業人フェアでのPRや短期滞在型農業体験等の取組が後押しし増加傾向となっている一方で、「新規就業者数（漁業）」は、コロナ禍で思うようなPRができなかったことなどから減少傾向で推移している。
- ・ 「宿泊客延数」は、新型コロナウイルスの影響緩和や全国旅行支援により回復傾向となっている。

評価指標全体の進捗率



R 6 年度における空知総合振興局の主な取組（振興局独自事業）①

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
日本遺産「炭鉄港」広域連携推進事業	日本遺産に認定された「炭鉄港」に対する理解や関心を高め、道内外からの交流人口の拡大を図るため、空知・後志・胆振の3地域が連携し、人材育成・普及啓発・情報発信などの取組を総合的に推進する。	①
日本遺産「炭鉄港」食文化普及啓発事業	日本遺産「炭鉄港」に対する理解や関心を高め、より多くの人たちにファンになってもらうことを目的として、各地で働いた労働者に愛され、栄養源として労働者を支えた「炭鉄港めし」を体験できるイベントを開催し、普及啓発・情報発信に繋げる。	①
北海道空知魅力発信事業	「空知」ならではの観光・物産やライフスタイル、生活環境などに関する情報を総合的に発信し、空知地域に対する関心や理解度の向上、首都圏等での知名度向上を図り、人とモノの流れの創出を目指す。	③④
空知地域バス運転手確保・ICT利活用推進事業	管内のバス事業者においては、利用者減少や運転手不足に伴う減便が相次いでいることから、輸送資源の効率化や人材確保を目的に運転手確保に向けた体験会やICTの利活用に資する勉強会を開催し、持続可能な交通体系の構築を推進する。	④
目指せ「空知人」！地域おこし協力隊活動応援事業	空知管内で活動する地域おこし協力隊員が市町村の枠を超えて他の隊員と交流・連携する機会を設け、実践的な課題解決力の習得を後押しすることにより活動の幅を広げ、地域を支える人として定着を図る。	④
空知スマート農業推進・人材強化事業	空知管内の基幹産業である「農業」において、人口減少に伴う労働力不足や農業機械によるCO2排出量の削減に対応していくため、Society5.0を実現する未来技術の活用促進及び人材育成・定着を推進し、空知農業の持続的発展を図るとともに、管内の地域活性化及びゼロカーボン空知に寄与する。	②

※空知地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活かした交流人口拡大プロジェクト	② 未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト
③ 地域の歴史や資源を活かした空知の魅力発信プロジェクト	④ 空知と多様な形で関わりを持つ人材創出プロジェクト

R 6 年度における空知総合振興局の主な取組（振興局独自事業）②

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
空知地域産業人材確保対策事業	合同企業説明会等の実施により、新規学卒者など若者の人材確保・定着に取り組む。	②
空知「食」と「ワイン」のブランド強化事業	食やワインのブランド化や産地づくりを推進し、空知の主要な産業である食産業の振興を図る。	②
空知アドベンチャートラベル推進事業	空知管内の多様な食、観光資源の魅力をアドベンチャートラベルを切り口に情報発信し、マイクロツーリズムを一層推進する。	③
空知製造業成長支援・産業集積促進事業	ビジネス展示会への出展などの取組により、管内企業の魅力や管内の立地環境の情報を発信し、空知管内の製造業の取引拡大を支援するとともに、さらなる企業誘致を促進する。	②

※空知地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活かした交流人口拡大プロジェクト	② 未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト
③ 地域の歴史や資源を活かした空知の魅力発信プロジェクト	④ 空知と多様な形で関わりを持つ人材創出プロジェクト

R 6 年度における石狩振興局の主な取組（振興局独自事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
「いしかりstyle」プラスワン観光推進事業	旅に「プラスワン」の価値を添える管内の周遊や体験型観光を推進し、多様化する観光ニーズに対応可能で誰もが旅を存分に楽しむことができる「いしかり観光スタイル」を国内外に積極的にPRする。	②
いしかりの食のブランド化推進事業	新たな食の価値の拡大・定着を目指し、各市町村や地域ならではの食の魅力づくりや魅力発信に向けた取組を実施する。併せて、国内外に向けた魅力発信を実施する。	②
いしかり農業Style受入地域づくり事業	石狩農業の将来を見据え、今後急増が見込まれる離農農家の資産（農地等）・技術を次の世代に繋ぐため、新規就農者の増加を目指し、地元の受入体制強化を推進し、就農研修生の石狩管内での就農増加を図る。	①
いしかり地域おこし協力隊定住・定着促進事業	石狩管内における地域おこし協力隊員の確保や任期後の定住・定着に向けた取組を行うとともに、いしかり地域おこし協力隊ネットワークの自走化を見据え、任期中の隊員の活動や交流促進を支援する。	①
「いしかりシビックプライド」醸成こども応援事業	石狩管内において、安心して子どもを生き育てられる環境づくりを促進するとともに、自然環境と調和した誰もが安心して暮らせる社会を形成するため、子どもや子育て家庭を地域で支える体制の充実や環境に配慮したゼロカーボン北海道の推進等を通じ持続可能な地域づくりを推進する。	③
いしかり・ライフstyle魅力発信・若者定着促進事業	札幌圏における人口減少問題に適切に対応するため、道や市町村をはじめとする関係機関の連携体制の下、管内ならではのライフスタイルの発掘発信や大学生等の若者の地元定着・人材還流の促進に向けた取組を実施する。	①

※石狩地域が推進するプロジェクト

①石狩の若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト	②石狩観光スタイルと石狩の食の魅力ブランド化推進プロジェクト
③安心して子どもを生き育てられる“いしかり”環境づくり促進プロジェクト	④自然環境と調和した誰もが安心して暮らせる“いしかり”まちづくりプロジェクト
⑤縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト	

R 6 年度における後志総合振興局の取組（振興局独自事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
ShiriBeshi グローカルインターンシップ事業	地域でのインターンシップと多文化共生の場を通じたグローバルな人材の育成に取り組むことで、若者を管内に呼び込み、関係人口の増大を目指す。	③
後志管内公共交通活性化事業	バス運転手等の確保のため移住・交流フェアや就職・転職フェアへの出展、後志の魅力などを掲載した冊子を作成し、各種フェアなどで配布するとともに、HPや各種SNSなどを活用して情報発信する。また、北海道新幹線の札幌延伸に向けた啓発活動についても同様に行う。	②
ニセコ山系ロングトレイル普及促進事業	多様な生物環境や希少な自然地形が分布するニセコ山系において、近年注目されているロングトレイルのコースを設定することで、国定公園の利用者増加と適正な管理を図るとともに、アドベンチャーツーリズムに適したコンテンツであることを活かし、夏季の後志観光を推進する。	②
ShiriBeshi ゼロカーボン推進事業	北海道地球温暖化対策推進計画（第3次）に基づき、2050年までの温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボン北海道」に向けた道民の意識醸成のため、ゼロカーボン北海道に係る各種啓発活動及び管内のワイナリーの支援を実施する。	②
ShiriBeshi 持続可能な観光地づくり推進事業	国際リゾートエリアである後志を持続可能な観光地としていくため、地域の「稼ぐ力」を引き出すDMOと連携し、環境負荷が低く、地域経済には高いインパクトを与え、ゼロカーボンにも資する旅行形態であるアドベンチャータラベル（AT）の推進等に取り組む。	②
後志地域人材確保・人材誘致推進事業	リゾートで冬季に勤務する豊富な人材の通年雇用化や管外在住人材の呼び込み、若年者への地元就職支援により、地域の持続的発展を目指す。当局の無料職業紹介事業を活用しながら、外国人・日本人それぞれ異なる手法でアプローチする。また、振興局が面接・採用に至るまで伴走することで公共職業安定所との差別化を図る。	③
しりべし産ワインを核とした地域ブランド力向上プロジェクト	「しりべし産ワイン」を核として、官民が連携し、食や観光分野との結び付けを図るとともに、生産者への技術支援や地元の販路拡大、道内外へのプロモーションなどの取組を行うことにより、行政だけでなく、地域全体が共通認識を持って、ワインや食のブランド力向上を目指す。	②

R 6 年度における後志総合振興局の主な取組（振興局独自事業）

事業名	概要	主な関連プロジェクト(※)
しりべしゼロカーボン農業展開事業	化学肥料・農薬の低減に向けた技術実証と、クリーン農業を始めとした地域資源の有効活用・人材育成に取り組む。	①
後志版「ほっかいどう企業の森林づくり」推進事業	ニセコエリアにおけるリゾート開発会社等に対し、ほっかいどう企業の森林づくりへの参画を働きかけ、森林づくりによるゼロカーボン北海道の推進につなげるとともに、リゾートエリアの各企業等に対し、地域材の利活用促進に向けた働きかけを行う。	①
コウナゴ漁期前調査事業	水産試験場や関係漁業者と連携して、コウナゴ漁期前調査を実施し、最適な漁獲サイズに成長する時期を予測し、今後の自主的な資源管理など、漁業者の意識醸成を図るとともに、操業を効率化し、燃料消化の削減による温室効果ガスの排出量低減に努める。	①

※後志地域が推進するプロジェクト

① 農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト

② 国際観光リゾートエリアとしての持続可能な観光地づくりと広域観光展開プロジェクト

③ ShiriBeshi 多文化共生の「まち・ひと・しごと」づくりプロジェクト

R 6 年度における胆振総合振興局の主な取組（振興局独自事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
「ゼロカーボン北海道」実現のための胆振アクション－2024－	胆振独自の産官学のネットワークである『TEAM「ゼロカーボンいぶり」』を活用した理解促進と機運醸成の取組を展開し、オール胆振による「ゼロカーボン北海道」の実現を目指す。	⑤⑥
いぶり人材育成・産業活性化推進事業	地域を支える産業の担い手の確保とともに、ものづくり産業の商談会などを通じて産業の活性化に向けた取組を実施。	⑤⑥
いぶり暮らし・交流促進事業	移住・定住の促進や関係人口の創出に向けて、移住フェアでのPRや地域おこし協力隊の連携促進に取り組む。	⑥
いぶり五大遺産等地域資源魅力発信事業	世界的な価値を有する「いぶり五大遺産」をはじめとした貴重な地域資源の魅力を様々な手法を用いて発信し、観光誘客や関係人口の拡大を図る。	①②③④⑤
いぶり観光・教育旅行誘致促進事業	縄文遺跡群やアイヌ文化などの「いぶり五大遺産」などの地域資源を活用しながらプロモーション等を行うことにより、インバウンドを含む観光客や道外からの教育旅行の誘致を図る。	①②③④⑥
いぶり・食ブランド推進事業	胆振管内の食の魅力を向上させ、消費拡大を図るため、道内外に広く「いぶりの食」の魅力を発信するとともに、素材の良さを活かしたメニューの開発などに取り組む。	⑥
いぶり地域防災力向上事業	昨今の高齢化や外国人の増加などの社会環境の変化を踏まえ、過去の被災の教訓やDX技術を活かしながら、地域住民が適切に避難行動を取れるように地域の災害対応力の強化を図る。	⑥

※胆振地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活かした交流人口拡大プロジェクト	② アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト
③ 道内ジオパークの連携による地域力向上プロジェクト	④ 縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト
⑤ 脱炭素社会を創造する「いぶり」産業展開プロジェクト	⑥ 住みたい・訪れたい「いぶり」地域づくりプロジェクト

R 6 年度における日高振興局の主な取組（振興局独自事業） ①

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
ナナイロひだか人材確保事業	働き手不足の解消に寄与するため、副業による働き手確保の取組や移住定住促進のための地域情報の発信などの人材確保対策を実施するとともに、高校生をはじめとした若者が社会に参画しやすい環境づくりに取り組む。	④
新規就農者育成・確保事業	日高が持つ「全国一の馬産地」「温暖少雪な気候風土」「港・空港に近い立地」といった強みを生かし、新規就農者の育成・確保及び定着に取り組み、地域の活性化を図る。	④
地元就業促進支援事業	管内では、少子高齢化などにより各業種で人手が不足している一方で、毎年、就職や進学等により約300人（約8割）の新規高等学校卒業者が管外に転出している状況。高校卒業後や大学等進学後、転職時の就職先として、管内企業を選んでもらえるよう、高校在学中から、地元でどのような産業があり、どのような仕事をしているのかを知ってもらうことを目的として、管内の産業やU・Iターンの体験談等を紹介する冊子を作成し、高校の進路担当部門、高校生や保護者に配布する。	④
日高軽種馬産地活性化推進事業	日高管内の基幹産業である軽種馬生産について、持続可能な生産体制づくりが必要なため、軽種馬生産の構造改革を進めるとともに、ホッカイドウ競馬の支援のほか、「ゼロカーボン北海道」の実現に貢献する馬産地日高の推進により、持続可能な地域産業の振興を図る。	③④
日高の豊かな海の幸フェス	日高管内の基幹産業の一つである水産業は、主要魚種の不漁に加え、魚離れにより需要が減少していることから、水産物の魚食普及を図り、消費拡大に繋げていく継続的な取組が重要である。そのため、日高の水産物を教育機関に提供するなど、若い世代に魚食の習慣を普及する取組を推進する。	⑤
ひだか「食」の競争力強化事業	日高管内の「食」の消費拡大を図るため、食関連事業者と連携し、日高製品の隠れた強みや良さを発見してPRをし、販路拡大を推進する。	③

※日高地域が推進するプロジェクト

① アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト	② 道内ジオパークの連携による地域力向上プロジェクト
③ 「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大プロジェクト	④ 「ひだか」の産業を支える人材確保・育成プロジェクト
⑤ 「ひだか」の魅力発信と観光の振興プロジェクト	

R 6 年度における日高振興局の主な取組（振興局独自事業） ②

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
来訪者の満足度向上に向けた観光DX推進事業	令和6年度の日高山脈襟裳国定公園の国立化や令和7年度の高規格道路日高自動車道新冠ICの開通など、今後観光客の増加が期待される機会を的確に捉え域内周遊を促す新たな観光コンテンツを造成する。	⑤
7towns, colors HIDAKA 観光知名度向上事業	ひだか地域の観光振興における課題である「観光地としての知名度不足」を解消し、交流人口の増加を図るため、管内各町や関係団体等と連携し、地域資源を活用した地域の魅力を体感できる観光メニューの開発や広域的な観光誘客の取組を図るとともに、地域の魅力を道内外に向けて効果的かつ戦略的に発信する。	⑤
日高アイヌ文化振興支援事業	漫画「ゴールデンカムイ」のヒットや民族共生象徴空間（ウポポイ）が開業したことなどにより、老若男女・国内外を問わずアイヌ文化の魅力を発信する絶好機を迎えていることから、アイヌ文化の魅力を広く発信することにより、「北海道・日高アイヌ文化」を軸とした交流人口と関係人口の増加を目指す。	①⑤
オールひだか魅力発信推進事業	新冠IC開通に向けた地域資源の活用促進や地域の魅力向上のため、日高山脈襟裳国定公園の国立公園化を好機として、国や日高管内各町、関係機関等が連携してプロモーション活動などを実施することにより、観光入込客数及び交流人口の増加を図る。	②⑤
日高地域における交通・物流の最適化促進事業	日高地域公共交通計画に基づき持続可能な公共交通網の形成と物流手段を構築するための先進地視察や運転手確保・バス利用を促進するセミナー等を開催する。	④

※日高地域が推進するプロジェクト

① アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト	② 道内ジオパークの連携による地域力向上プロジェクト
③ 「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大プロジェクト	④ 「ひだか」の産業を支える人材確保・育成プロジェクト
⑤ 「ひだか」の魅力発信と観光の振興プロジェクト	